

プロジェクト入門での学びとは PBL型教育モデルについて

実施報告

日時: 2014年12月3日 (火) 16:00~17:30

場所: 東海大学湘南キャンパス 8号館3階プロジェクト会議室

内容:

1. プロジェクト入門Bでの学びと課題(崔一英)
2. プロジェクト入門Aでの学びと課題(岡田工)
3. プロジェクト入門Aでの学びと課題(青木孝子)
4. ディスカッション(ファシリテーター: 田島祥)

概要

崔次長より、「ウォーキングにおけるスマートフォンの活用とグループワークの実践」として、プロジェクト入門Bでの取り組みについて報告があった。プロジェクト入門は課題に取り組みながら、学生たちにプロジェクト実践力を身につけさせることが、この授業目的である。さらに、コンピュータ室を利用し、加えて、近年学生に普及したスマートフォンを活用した情報の収集、データをパソコンに取り込み、編集する能力を身につけることができる内容になっている。調査の基本、調査内容をまとめて、パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行うことから、プレゼンテーション能力を身につけることができる。グループワークも行うため、コミュニケーション能力も育成される。



次に岡田主任より、湘南校舎のプロジェクト入門Aとして、「興味を引くような科学教材の開発」や代々木キャンパスの「新人研修、新入生研修」について報告があった。また、プロジェクト入門Cとして光画像工学科の渋谷先生と複数担当の「3Dテレビについて」や物理学科の櫛田先生と担当している「流星の電波観測」についても紹介された。



最後に青木孝子講師より「多面体の工作方法の実践」について報告された。また、ディスカッションでは、学生へのチームワークや欠席者を減らすための取り組みなど活発な意見交換がなされた。

